

セキュリティエンジニア

必要なスキルと年収

レベル別ロードマップと将来性

年収 350 万～ 1,500 万円超の実態



何から始めればいいでしょう？

まず全体像を掴むことが第一歩だ





セキュリティプロ・フリーランス

登録・利用 完全無料



最高月収150万円

月額80万円以上の案件が

80%以上を占める高単価



リモート率80%以上

フルリモート対応可能案件多数

自由な働き方を実現



専門特化サポート

セキュリティ領域に精通した

専任エージェントが伴走



フリーランス案件マッチング

- ✓ 高単価案件から長期安定稼働の案件まで多数保有
- ✓ 脆弱性診断、SOC構築、ゼロトラスト導入など幅広い専門案件
- ✓ 面倒な営業活動・単価交渉・契約手続きは全て代行



キャリアサポート

- ✓ 業界に精通したエージェントがあなたの市場価値を最大化
- ✓ 独立支援（会社員から個人事業主、法人設立までサポート）
- ✓ 定期的な技術情報共有会、起業支援パックの提供



支払サイト

月末締め翌月払い (30日サイト)



案件参画スピード

2週間～1カ月程度

詳細を見る →

● 業務サイクル 6 フェーズ

1

企画・提案

セキュリティポリシー策定・リスクアセスメントの設計

2

設計

ネットワーク・システムのセキュリティアーキテクチャ設計

3

実装

ファイアウォール・WAF・認証基盤の構築

4

テスト・診断

脆弱性診断、ペネトレーションテストの実施

5

運用・監視

SIEM 運用、ログ分析、脅威インテリジェンス活用

6

インシデント対応

初動対応・フォレンジック・再発防止策の立案

● 必要なスキルの3層構造



基礎スキル

OS ・ ネットワーク ・ Python ・ SQL 。すべての応用の土台



専門スキル

脆弱性診断 ・ 暗号 ・ 認証 ・ SIEM/SOC 運用の実務力



先端スキル

クラウドセキュリティ ・ AI セキュリティ ・ ゼロトラスト

基礎なき専門は砂上の楼閣。3層を順に積むことが市場価値の最短経路

● 土台となる基礎スキル 4 つ



OS・コマンドライン操作

Linux/Windows の CLI。ログ確認からプロセス管理まで



TCP/IP ネットワーク知識

パケット解析から FW 設計・不正通信検知の基盤



優先言語と前提知識

Python は自動化に即戦力。SQL は SQLi 対策の前提

● 需要が高い専門スキル 4 領域



脆弱性診断

OWASP ZAP ・ Burp Suite で Web アプリの弱点発見



認証・認可設計

OAuth2.0 ・ SAML ・ MFA はゼロトラスト必須スキル



SIEM/SOC 運用が急成長

Splunk を軸にログ分析・可視化の需要が急増中



● 差がつく先端スキル 3 領域



クラウドセキュリティ

CSPM ・ CNAPP 設計運用。月額単価に直結する最需要領域



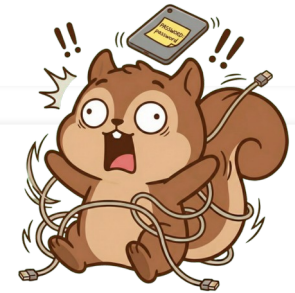
AI セキュリティ

プロンプトインジェクション等 AI 固有脅威への対策



ゼロトラスト設計

SASE アーキテクチャ主導で月額 100 万円超案件を獲得



ISC2 調査：世界の 95% がスキル不足。先端 3 領域のギャップが最も深刻



● レベル別ロードマップ 4 段階

1

未経験 → 初級

IT パスポート → CompTIA Security+ → Linux 基礎 → CTF 参加。年収 300 ～ 450 万円

2

初級 → 中級

情報処理安全確保支援士取得。SOC ・ CSIRT 配属で実務経験を積む。年収 450 ～ 650 万円

3

中級 → 上級

CISSP ・ OSCP の取得。フリーランス転向も選択肢。年収 700 ～ 1,000 万円 +

4

フリーランス

月額 70 ～ 130 万円。専門特化で年収 1,500 万円超も射程圏内

基礎から積み上げれば数字はついてくる



● スキル証明の資格 国内 vs グローバル

国内資格



情報セキュリティマネジメント

合格率 50 ~ 60%。初中級・情シス部門向け



情報処理安全確保支援士

合格率約 20%。登録セキスペ独占名称

グローバル資格



CompTIA Security+

初級。世界的認知度が高い



CISSP

上級。保有者平均年収 720 万円



OSCP

24 時間実技試験。技術力の最強証明

難関でも取る価値あり



● 正社員 vs フリーランス 年収比較

正社員

経験年数別年収レンジ

- ・ 初級 (0 ~ 2 年) : 350 ~ 500 万円
- ・ 中級 (2 ~ 5 年) : 500 ~ 700 万円
- ・ 上級 (5 年 ~) : 700 ~ 1,000 万円 +
- ・ doda 平均: 497 万円

VS

フリーランス

専門スキル別月額単価

- ・ ゼロトラスト設計: 100 ~ 130 万円
- ・ ペネトレーション: 90 ~ 120 万円
- ・ クラウドセキュリティ: 80 ~ 120 万円
- ・ コンサルティング: 100 ~ 150 万円



差のポイント



月額平均 78 万円 ÷ 年収 936 万円。実務 3 年 + 資格 1 つが独立の目安

● 人材不足と AI 時代を生き抜く条件



人材不足の深刻度

日本の 42% が人材確保困難。世界平均 29% を大幅超



AI に代替されない業務

経営判断・未知攻撃への対策・AI 固有リスク評価



AI を武器にする側へ

AI 活用スキルで希少価値を維持。武器として使う側へ

● キャリアパス 5 つの選択肢

1

コンサル /CISO

CISSP+CISM 取得。年収 1,000 ～ 2,000 万円。経営層との対話が主戦場

2

ホワイトハッカー

OSCP ・ CEH 取得。年収 700 ～ 1,200 万円。バグバウンティ副業も可能

3

セキュリティ設計

クラウド設計特化。年収 800 ～ 1,500 万円。参入障壁が高い分高単価

4

SOC アナリスト

Splunk ・ EDR 運用。年収 500 ～ 900 万円。あらゆるキャリアの基盤

5

フリーランス

月額 70 ～ 130 万円。専門特化で年収 1,500 万円超も射程圏内



● まとめ | スキルを武器にキャリアを切り拓こう



スキルは基礎 → 専門 → 先端の 3 層で積み上げ、資格で客観的に証明する



2030 年 IT 人材 79 万人不足。今スキルを磨いた者が最も恩恵を受ける



フリーランス月額最大 150 万円。専門特化 + AI 活用で市場価値を最大化

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

